

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2022年6月期 通期決算説明資料

フィーチャ株式会社（東証グロース4052）

2022年8月12日

1. 業績ハイライト
2. 2022年6月期（通期）決算概要
3. 事業概要及び進捗
4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix.

本資料の数値はすべて連結ベースで記載しております。

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

1. 業績ハイライト

2. 2022年6月期（通期）決算概要

3. 事業概要及び進捗

4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix.

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

□ 前期比で大幅増収、黒字転換

- ・受託開発収入 +71.5%

前期コロナによる顧客予算縮小の反動で、今期は足元の受注が回復傾向

- ・ライセンス収入+27.6%

ドライブレコーダーの販売が引き続き好調

□ コロナ・半導体不足により新車向け車載カメラ案件の量産がやや遅延したものの、利益は予想を上回る着地

(単位：百万円)

| | 2021年6月期 | 2022年6月期 | | |
|-----------------|----------|----------|--------|------|
| | 前期実績 | 当期実績 | 前期比 | 当期予想 |
| 売上高 | 260 | 382 | +47.0% | 421 |
| うち、受託開発収入 | 114 | 197 | +71.5% | 193 |
| うち、ライセンス収入 | 145 | 185 | +27.6% | 228 |
| 営業利益 | △64 | 25 | — | 15 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | △62 | 29 | — | 13 |

将来のライセンス収入につながる量産案件の受注を着実に積み上げ

■新機能、新製品リリース及び量産案件受注状況

●：新規受注 ●：量産開始 ●：新機能リリース



主な量産案件進捗状況

量産案件を複数開発中、長期的なライセンス収入の積み上げを実現

海外案件

国内案件

| 収益形態 | - | 受託開発収入 | ライセンス収入 |
|-------------|-----------------------|--|---|
| 活動ステータス | 商談中 | PoC | 量産開発 量産開発中 量産間近 |
| モビリティ | 新車 | <p>ADAS/Tier1 ※量産に向け進捗想定</p> <p>DMS/OEM ※量産に向け進捗想定</p> | <p>ADAS・DMS / Tier1</p> <p>ADAS / Tier1</p> |
| | ドラレコ | <p>国内/海外の新規・既存顧客より、多数の引合い・商談予定</p> <p>✓ 量産開発案件は、量産を見込んでおり、今後、受託開発収入からライセンス収入に移行する想定</p> <p>ADAS・DMS / Tier1 ※量産に向け進捗想定</p> <p>ADAS・DMS / Tier1 ※量産に向け進捗想定</p> <p>ADAS / Tier1 ※量産に向け進捗想定</p> <p>DMS / Tier1 ※量産に向け進捗想定</p> | <p>ADAS / Tier1</p> <p>ADAS・DMS / Tier1</p> <p>ADAS・DMS / Tier1</p> <p>BIPROGY 無事故プログラム</p> |
| スマートインフラ | 国内の新規顧客より、多数の引合い・商談予定 | <p>交通監視案件 ※実装想定</p> <p>インフラ制御案件 ※実装想定</p> | |
| DX (AI-OCR) | 国内の新規顧客より、多数の引合い・商談予定 | ITサービス提供会社 | ※サービス開始想定 |

1. 業績ハイライト

2. 2022年6月期（通期）決算概要

3. 事業概要及び進捗

4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix.

Make Things Intelligent

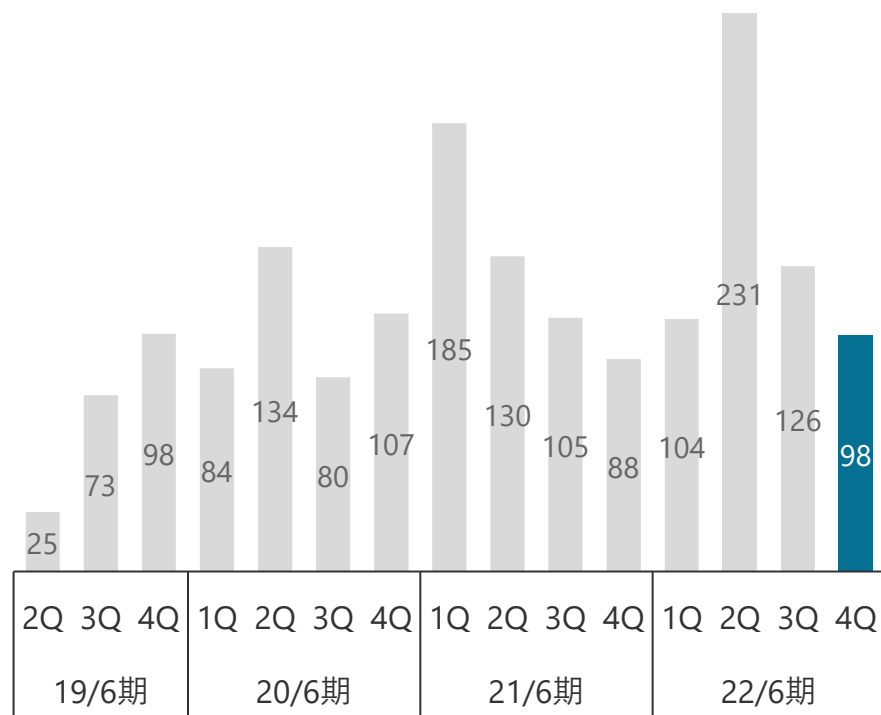
あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

(単位：百万円)

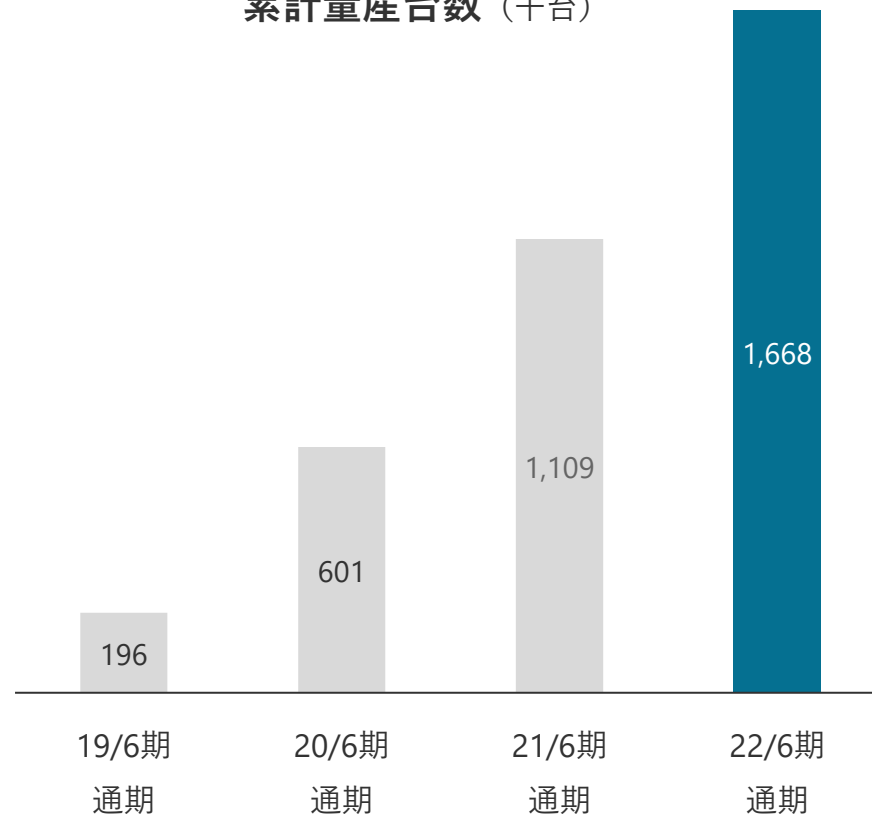
| | 2021年6月期 | 2022年6月期 | | | |
|---------------------|----------|----------|--------|------|---------|
| | 前期実績 | 当期実績 | 前期比 | 当期予想 | 予想比 |
| 売上高 | 260 | 382 | +47.0% | 421 | △9.2% |
| うち、受託開発収入 | 114 | 197 | +71.5% | 193 | +2.0% |
| うち、ライセンス収入 | 145 | 185 | +27.6% | 228 | △18.8% |
| 売上原価、販管費 | 324 | 357 | +9.9% | 406 | △12.1% |
| うち、人件費 | 205 | 225 | +10.1% | 262 | △14.2% |
| うち、経費 | 125 | 125 | +0.8% | 140 | △10.6% |
| うち、仕掛品振替 | △5 | 5 | — | 2 | — |
| 営業利益 | △64 | 25 | — | 15 | +65.7% |
| 経常利益 | △62 | 26 | — | 15 | +72.6% |
| 親会社株主に 帰属する当期純利益 | △62 | 29 | — | 13 | +117.5% |

ドライブレコーダーの販売が引き続き好調（当2Qは新規案件の一括納品で一時増）

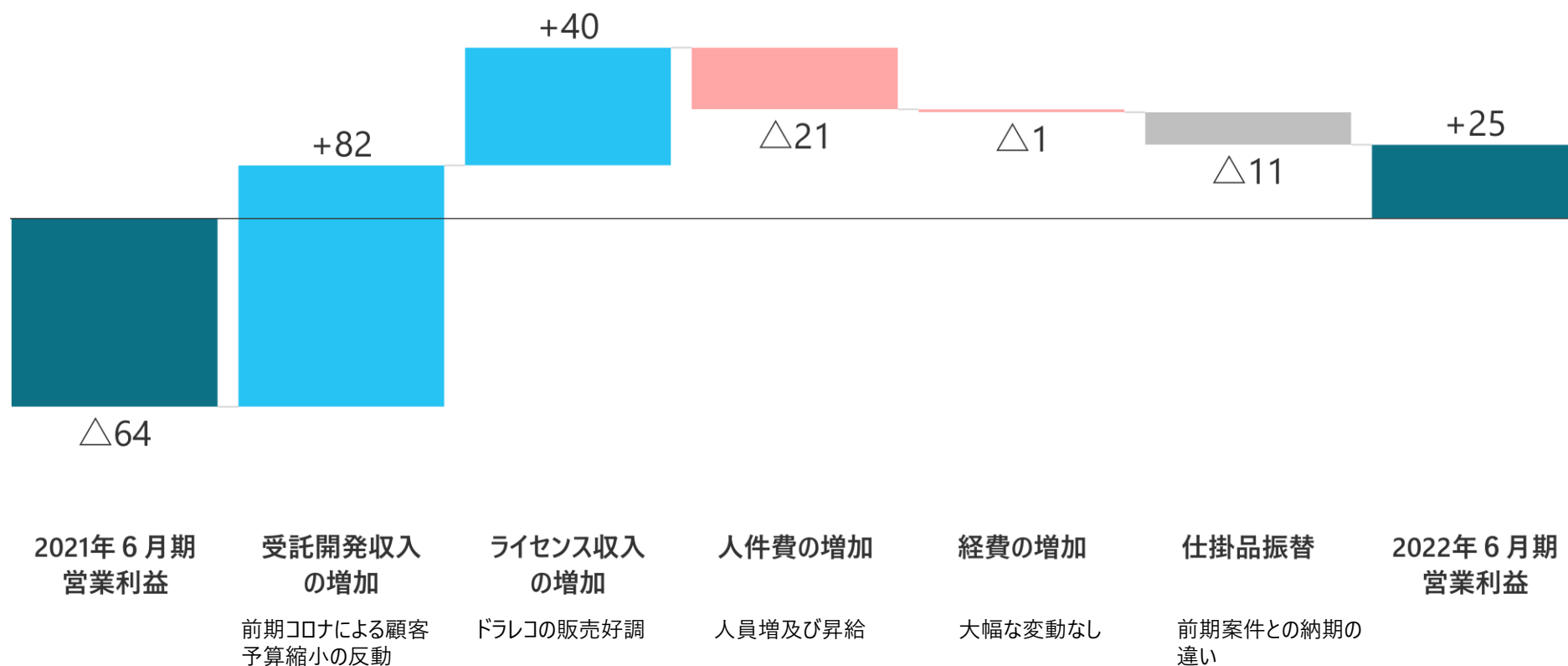
四半期別量産台数（千台）



累計量産台数（千台）



(単位：百万円)



(単位：百万円)

| | 2021年6月期末 | 2022年6月期末 | |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| | 前期実績 | 当期実績 | 前期末との差異 |
| 流動資産 | 508 | 550 | +42 |
| 現金及び預金 | 451 | 470 | +18 |
| 売掛金及び契約資産 | 35 | 57 | +22 |
| その他 | 20 | 21 | +1 |
| 固定資産 | 36 | 49 | +12 |
| 資産合計 | 544 | 599 | +54 |
| 負債合計 | 37 | 30 | △6 |
| 純資産合計 | 506 | 568 | +61 |
| 負債・純資産合計 | 544 | 599 | +54 |

(単位：百万円)

| | 2021年6月期 | 2022年6月期 | |
|------------------|----------|----------|--------|
| | 前期実績 | 当期実績 | 前期との差異 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △6 | 16 | +22 |
| 税金等調整前当期純利益 | △62 | 26 | +89 |
| 償却費 | 16 | 8 | △7 |
| 売上債権の増減額 | 65 | △22 | △87 |
| その他 | △25 | 3 | +28 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5 | △4 | +1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 43 | 3 | △39 |
| 現金等の換算差額 | 1 | 3 | — |
| 現金等の増減額 | 32 | 18 | — |
| 現金等の期末残高 | 451 | 470 | +18 |

1. 業績ハイライト
2. 2022年6月期（通期）決算概要
3. 事業概要及び進捗
4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix.

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

モビリティ事業を主軸に、スマートインフラ事業やDX事業まで幅広く展開

モビリティ事業（主軸事業）

安全運転・自動運転の推進拡大による
量産案件の増加。ライセンス収入の安定化。

主製品：
車載カメラ及びドラレコ用
先進運転支援システム(ADAS)
ドライバー監視システム(DMS)



スマートインフラ事業（応用事業）

ADAS技術の応用が可能。
スマートシティの実現に向けた
インフラに関する様々なニーズあり。

主製品：
交通監視ソフト、インフラ制御ソフト

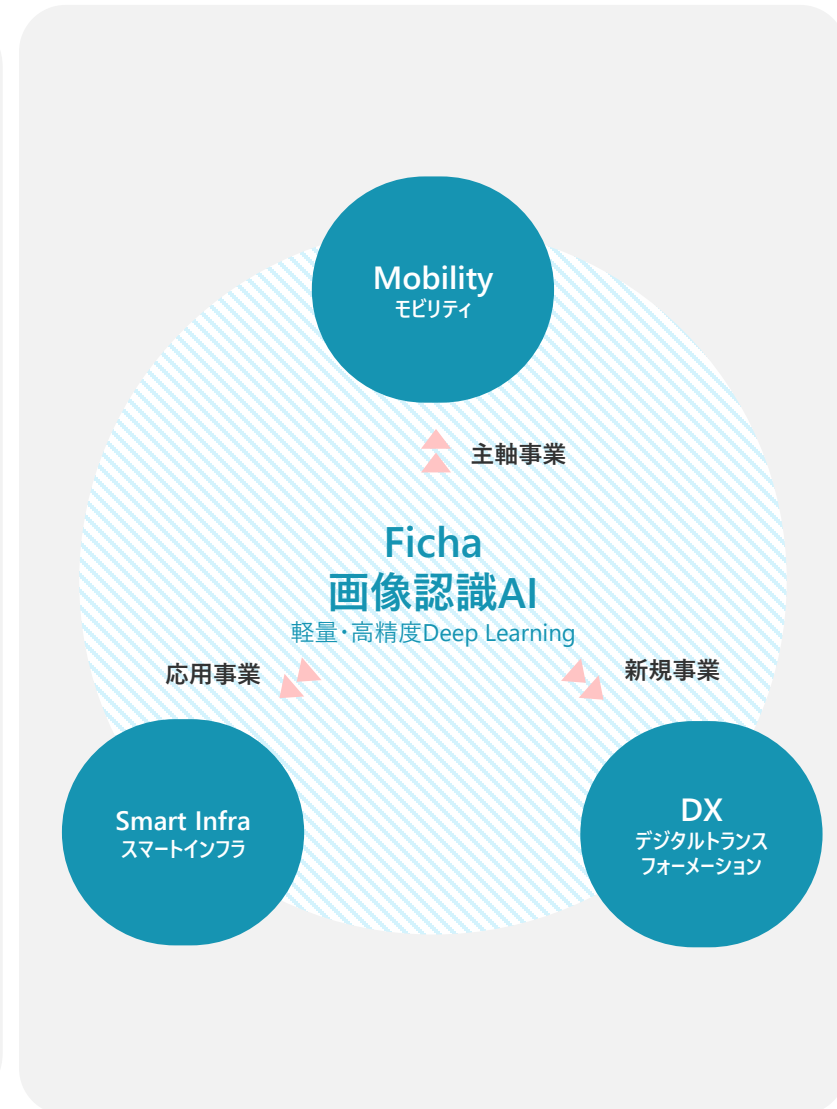


DX事業（新規事業）

多様な企業でのDX推進の動きが加速化。
独自の画像認識ノウハウを生かし、AI-OCR
エンジンの提供を開始。

主製品：
AI-OCR、Form Analyzer

| 納品期間 | 令和3年 12月 1日 | 納品場所 | 〒170-8019 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイ60 19F | | |
|-------|-------------|------|--|--------|--------|
| 商品コード | 商品名 | 単位 | 数量 | 単価 | 金額(税込) |
| 58P12 | ホワイトボード | | 20 | ¥1,000 | ¥2,200 |
| 4678Q | メモカ | | 50 | ¥200 | ¥1,000 |
| 6W54H | A型バリケード | | 11 | ¥3,250 | ¥3,575 |
| 合計金額 | | | | | ¥6,775 |



ADAS&DMS ラインナップが充実 量産案件が積み重なり当事業は順調に成長

Point 1

「軽量」かつ「高精度」

- KITTI* ベンチマークテスト歩行者検出第1位
- 汎用SOCで動作可能な軽量ディープラーニング

Point 2

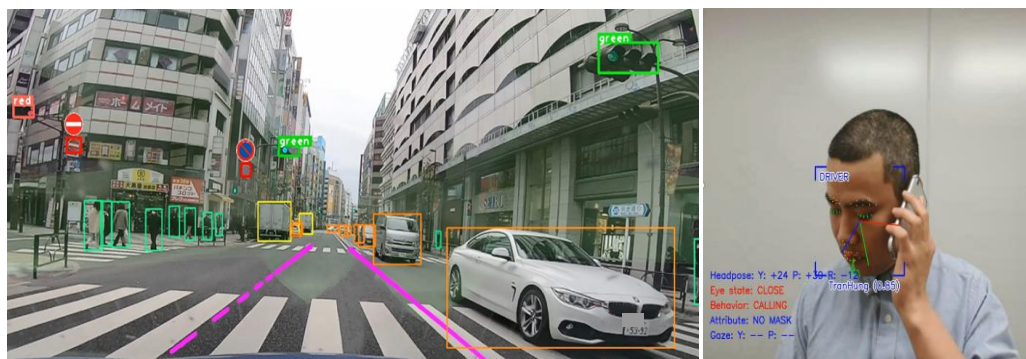
豊富なラインナップ

- 【ADAS】フロント、サラウンドカメラ向け先進運転支援
- 【DMS】居眠り、脇見、危険運転等の検知
- プライバシーマスキング、看板OCR

Point 3

多数の量産実績

- 累計ライセンス台数160万台を突破
- 国内Tier1向け車載カメラ用IP量産開始



主な市場ニーズ

- ① 自動運転
- ② 運転支援
- ③ 運転手監視
- ④ ドラレコデータ活用

製品ラインナップ一例

| 種類 | 検知対象 | 機能 |
|------|-------------|-------------|
| ADAS | 車両検知 | 前方車間距離 |
| | | 衝突警報 |
| | | 低速時追突警報 |
| | 車線検知 | 車線逸脱警告 |
| | 横断歩道検知 | 一旦停止無視 |
| | 歩行者検知 | 信号無視検知 |
| DMS | 信号検知 | 速度超過警告 |
| | 標識 | 一時停止不停止検知 |
| | 居眠り | 居眠り運転検知 |
| | 脇見 | 脇見運転検知 |
| | 危険動作検知 | 携帯電話操作/通話検知 |
| その他 | 顔認証 | 喫煙検知 |
| | | 運転手の顔認証 |
| | プライバシーマスキング | 看板OCR |

* 世界最大規模の車載用ベンチマークテスト「The KITTI Vision Benchmark Suite」2020年4月時点

交通監視やインフラ制御に画像認識技術のニーズ大 現在、スマートインフラの構築に向けた案件が複数進行中

Point 1

モビリティ技術の応用

- モビリティ事業で培った豊富な開発実績や技術・ノウハウをインフラ向けへ応用
- 【ADAS技術】交通監視、インフラ制御、人流解析 etc.
- 【DMS技術】個人認証、デジタルサイネージ etc.

Point 2

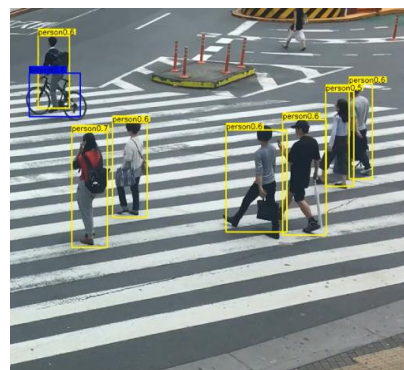
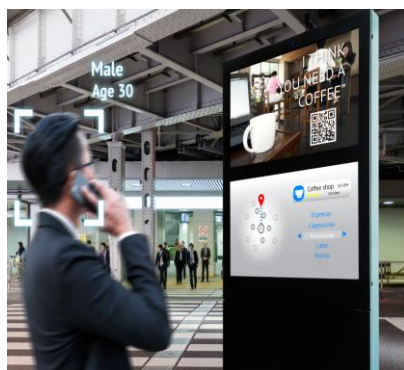
人流解析

- 様々な角度で設置されたカメラで撮影した映像から人物を検出及び追跡
- 人数カウントと人物の移動軌跡、年齢・性別などの情報を可視化
- 利用用途に応じカスタマイズ可能

Point 3

エッジ処理も可能

- ビッグデータ解析にあたり取得・保管する情報への配慮が必要
- 解析後の映像データを保存せず、個人情報漏洩リスクを低減
- 顔やナンバープレートに自動でモザイク処理する自動マスキング技術を保持



主な市場ニーズ

- ①交通監視 ②インフラ制御
③マーケティングリサーチ ④個人情報保護

当社独自のAI技術 ⇒ 高精度なAI文字認識エンジンを開発 事業多角化の柱としてDX市場へ参入、事業拡大を狙う

Point 1 活字/手書き文字を高精度で認識

- 文字領域を高精度に自動検知
- 最先端の文字認識アルゴリズムを活用
- 大規模な学習データセットで学習

Point 2 フォーム自動解析

- 帳票画像から項目名と項目値のペアを自動的に抽出
- レシート・請求書等の幅広い帳票に対応可能
- 特定書類向け、サービス構築可能

Point 3 ライブラリ提供可能

- 自社クラウド/サーバ内でライブラリ利用可能
- クラウドが使用できないケースにも対応可能

高精度の文字検知

- 当社独自の画像認識アルゴリズムにより、高精度の文字検知と処理の軽さを実現

主な市場ニーズ

- ①手書き文字、帳票対応
- ②RPA
- ③各種アーカイブ

販売チャネル

- 当社は、「AI-OCR関連サービス」を提供するITサービスベンダーに技術提供し、使用量に応じて、ライセンス料を受領

1. 業績ハイライト
2. 2022年6月期（通期）決算概要
3. 事業概要及び進捗
4. 今後の業績予想と成長戦略

Appendix.

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

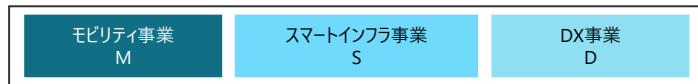
2023年6月期業績予想

- 受託開発収入は、複数の大型案件の受注により大幅増収見込み
- ライセンス収入は、新車向け車載カメラ案件の量産本格化や新規ライセンス製品の量産開始予定
- トップライン成長のための人材投資を積極的に行うものの、コストの増加を売上高増加が上回り増収増益を見込む

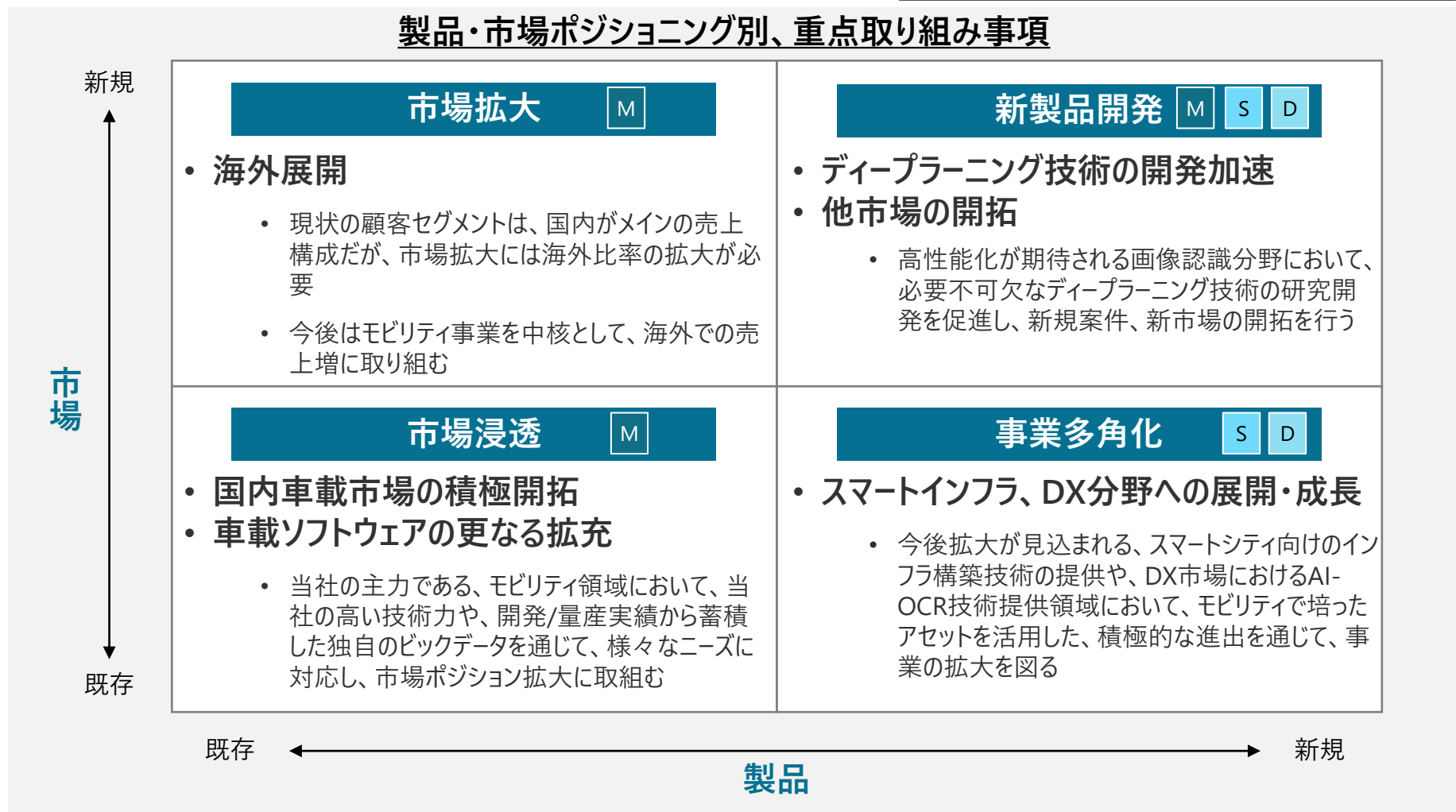
(単位：百万円)

| | 2022年6月期 | 2023年6月期 | |
|-----------------|----------|----------|---------|
| | 当期実績 | 翌期予想 | 当期比 |
| 売上高 | 382 | 512 | +33.9% |
| うち、受託開発収入 | 197 | 266 | +35.3% |
| うち、ライセンス収入 | 185 | 245 | +32.4% |
| 売上原価、販管費 | 357 | 431 | +20.8% |
| うち、人件費 | 225 | 282 | +25.5% |
| うち、経費 | 125 | 148 | +17.9% |
| うち、仕掛品振替 | 5 | 0 | — |
| 営業利益 | 25 | 81 | +216.6% |
| 経常利益 | 26 | 81 | +203.9% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 29 | 66 | +127.5% |

今後も拡大する画像認識ソフトウェア市場において、当社の技術力を通じて、開発/販売を加速し、事業拡大と高い成長性を継続



製品・市場ポジショニング別、重点取り組み事項



1. 業績ハイライト
2. 2022年6月期（通期）決算概要
3. 事業概要及び進捗
4. 今後の業績予想と成長戦略

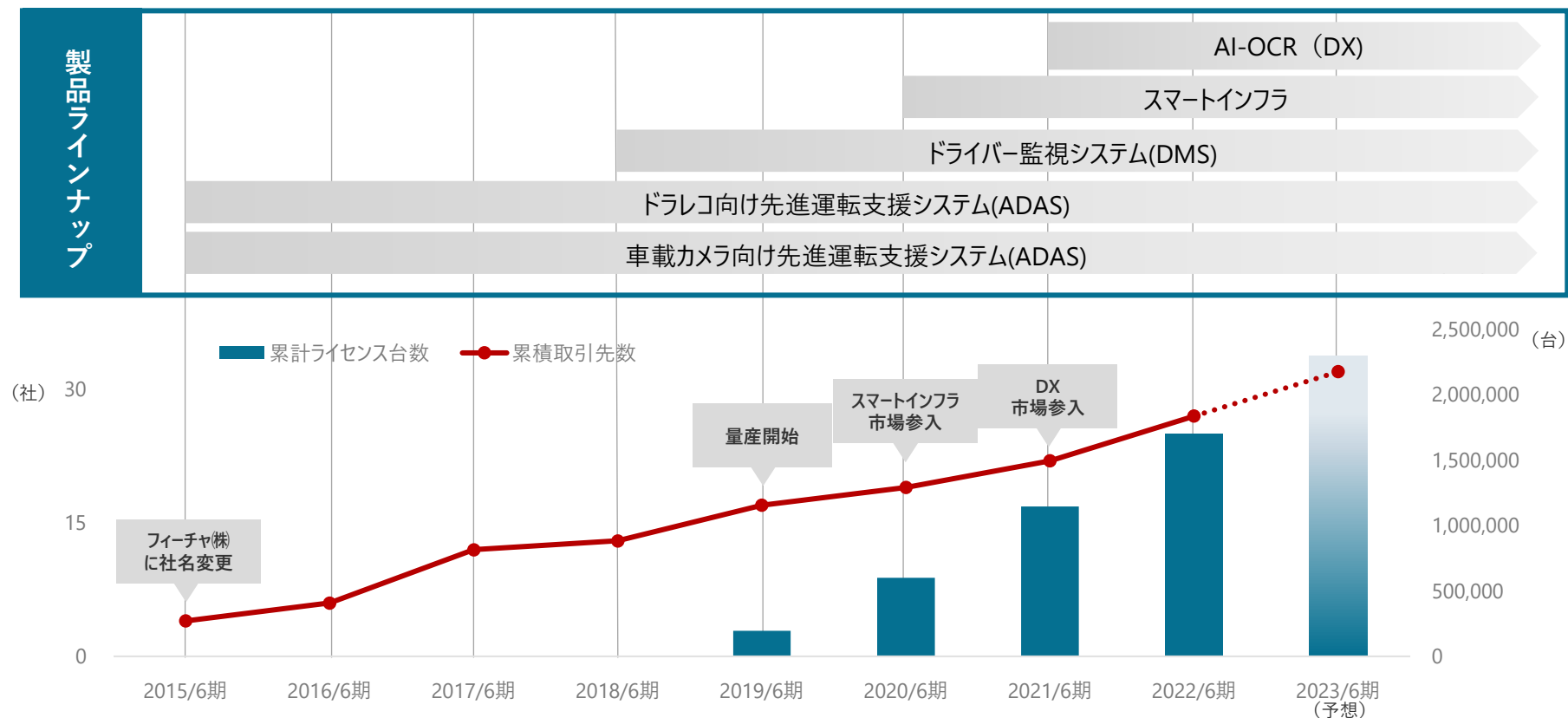
Appendix.

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

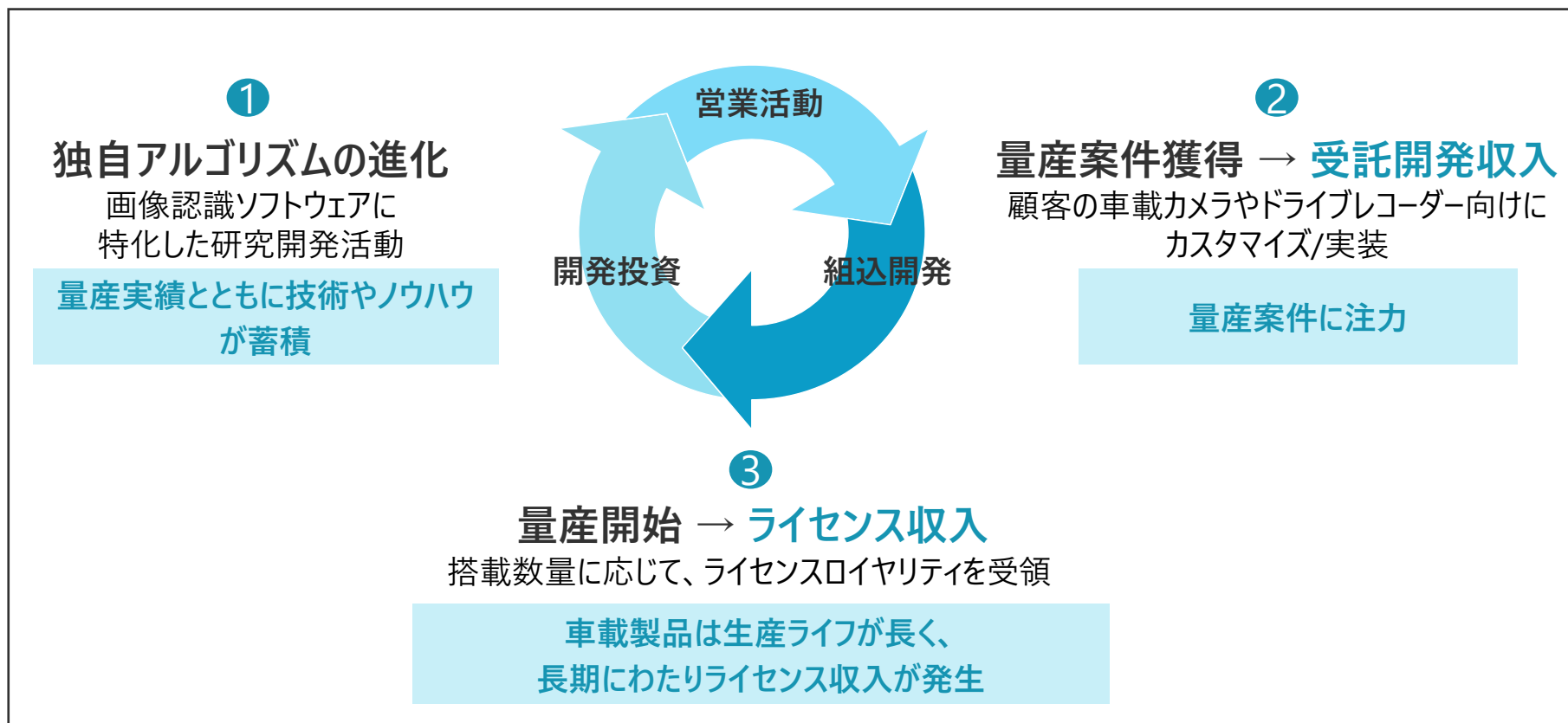
- 製品ラインナップの充実とともに、着実な成長を実現
- 高い技術力と実用性を評価いただき、累計ライセンス台数は160万台を突破
- 2020年以降は、収益基盤となるモビリティ事業の拡販に加え、事業多角化を見据え、応用技術の活用によるスマートインフラ事業やDX事業に参入

累積取引先数と累計ライセンス台数の推移

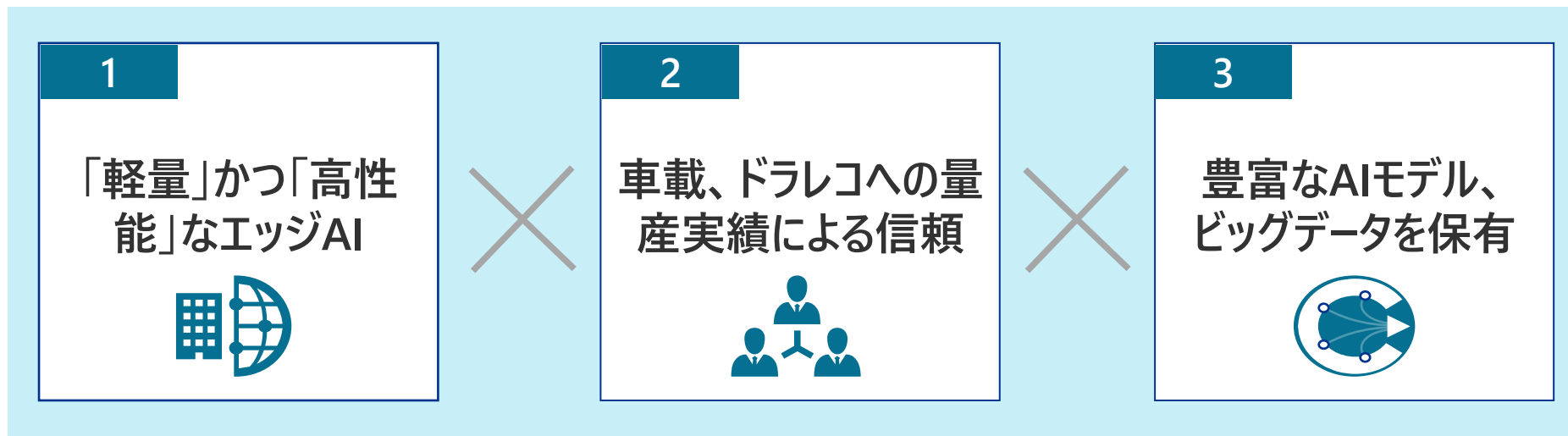


- 量産案件に注力した活動プロセスによって、長期ライセンス収入の実現を推進
- 多数のライセンス製品を積み上げていくことで、加速度的な成長が可能な収益構造
 - ✓ 当社売上高のうち、約50%がライセンス収入（ライセンス収入の利益率100%）
 - ✓ 量産前提案件に注力し長期的なライセンス収入を狙う（量産案件の車載製品はライフサイクルが長い）

$$\text{売上高} = \text{受託開発収入} + \text{量産台数} \times \text{ライセンス単価}$$



- 当社は、機能性に優れたエッジAI等の技術力をベースとした多数の量産実績を有しております。
- 加えて、開発活動を通じて蓄積した、当社独自のAIモデルや保有ビッグデータを強みとして、更なる事業拡大に取り組んでおります。



当社の強み

| | |
|----------|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> • 車載カメラやドラレコ等の非力なLSI で動作可能な高精度な軽量AIを保有。 • 顧客のニーズに沿って開発した豊富なソフトウェアラインナップを有する。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> • 当社の画像認識ソフトウェアは、その実装性能を評価され、車載カメラやドラレコに採用され、多数の製品で量産化。累計搭載台数は160万台を突破。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> • モビリティ分野・スマートインフラ分野の開発経験を通じて、豊富なAIモデルと撮影画像等のビッグデータを保有。少ない顧客データで効率的な開発が可能。 |

車載・ドライブレコーダー向け画像認識ソフトウェアソリューション

精度と実装性を兼ね備えたアルゴリズム

画像認識ソフトウェア技術

ディープラーニング

非ディープラーニング

画像処理



車載用ソフトウェア特有のノウハウ



LSIへの実装技術



安全、安心、効率化に貢献する多様なソフトウェアラインナップ

モビリティ検知認識

- 歩行者検出
- 二輪車検出
- 縁石検出
- 標識認識
- 信号認識
- 車線検出
- 四輪車検出
- 横断歩道検出
- フリースペース検出



顔検知認識

- 顔特徴点検知
- 顔検知
- 顔向き推定
- 顔認証
- 視線推定
- 顔属性推定
(マスク、眼鏡、性別、年齢、表情)



HMI*検知認識

*ヒューマンマシンインターフェイス

- ジェスチャー認識
- 全身姿勢推定
- 危険動作認識
(喫煙、ドリンク、電話)





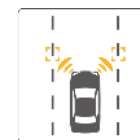
『汎用LSIで動く』軽量ADASソフト

歩行者、車両、バイク、標識、車線などを高精度に検出



歩行者衝突警報 (PCW)

- 歩行者、自転車の検知
- 歩行者衝突警報



車線逸脱警報 (LDW)

- 車線と車両間の位置を検出
- 車線逸脱、ふらつき警報



前方車衝突警報 (FCW)

- 前方車両の検知
- 前方車衝突警報
- 衝突被害軽減ブレーキ



標識検知 (TSD)

- 標識検出を利用した交通違反の検知



『汎用LSIで動く』ディープラーニング

車内カメラによってドライバーの運転状態を監視し、危険運転・事故防止を目的としたシステム

特別なハードウェアを必要とせず、汎用CPUで実現可能



顔認証

- ドライバーを識別し、シート位置を自動調整



危険運転検出

- 運転中の電話、飲食、喫煙を検出



よそ見運転

- 顔の向き等から運転中のよそ見を検出



居眠り運転検出

- 目の状態、顔の角度、あくび頻度等から居眠り状態を検出

フィーチャグループでは、持続可能な開発目標（SDGs）達成のためには企業による貢献が不可欠であると認識しています。そのため、SDGsの全17ゴールのうち特に関連が深い2ゴールを優先ゴールとして特定しました。



✓ 当社ソフトウェアを世に広め安心・安全に貢献

自動運転時代に向かう中、当社も画像認識技術に更に磨きをかけ、社会の安全や快適、効率に貢献していきます。

✓ 次世代技術の開発促進

イノベーション創出機会を促進するため、社内の環境づくりと、外部ステークホルダーとの連携に注力しています。

(単位：百万円)

| | 2021年6月期 | | | | 2022年6月期 | | | |
|-----------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 売上高 | 66 | 51 | 74 | 67 | 52 | 132 | 104 | 92 |
| うち、受託開発収入 | 22 | 16 | 43 | 32 | 20 | 68 | 58 | 50 |
| うち、ライセンス収入 | 43 | 35 | 31 | 34 | 31 | 64 | 46 | 42 |
| ※売上原価 | 12 | 13 | 29 | 21 | 17 | 36 | 25 | 31 |
| 売上総利益 (粗利率) | 53 81.0% | 38 74.1% | 45 60.2% | 45 67.6% | 35 67.0% | 96 72.7% | 79 76.0% | 61 66.6% |
| ※販管費 | 64 | 61 | 54 | 67 | 63 | 62 | 55 | 66 |
| うち、研究開発費 | 24 | 22 | 14 | 28 | 23 | 20 | 16 | 23 |
| 営業利益 (営業利益率) | △10 △15.8% | △22 △44.2% | △9 △12.9% | △21 △31.8% | △28 △53.3% | 34 25.9% | 23 22.9% | △4 △4.8% |

| | | | | | | | | |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ※原価＋販管費合計 | 76 | 74 | 84 | 88 | 80 | 98 | 80 | 97 |
| うち、人件費 | 47 | 48 | 51 | 56 | 56 | 56 | 55 | 57 |
| うち、経費 | 30 | 29 | 32 | 31 | 29 | 31 | 28 | 36 |
| うち、仕掛品振替 | △1 | △3 | 0 | 0 | △4 | 10 | △3 | 3 |